

二中の窓

12・1月号
令和元年(2019年)12月24日
箕面市立第二中学校



みんなで築こう 人権の世紀

国際連合は世界人権宣言が採択された12月10日を世界人権デーとしており、日本でも、12月4日～10日を人権週間として全国的な啓発活動を展開しています。ここでは、「子どもの権利条約」と「SDGs(エスディーゼズ、持続可能な開発目標)」の二つを紹介します。

2019年は、子どもの権利条約が国連で採択されて30年の節目の年です。子どもの権利条約に定められている権利は、大まかに次の四項目に分けることができます。

- 1. 生きる権利
- 2. 育つ権利
- 3. 守られる権利
- 4. 参加する権利

箕面市でも、平成11年に「箕面市子ども条例」が施行されました。この人権週間を、子どもが持つべき権利について、改めて見つめ直すきっかけにさせていただけたらと思います。

SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人としてとり残さないことを誓っています。6月に行われたG20大阪サミットや、東京五輪・パラリンピック、2025年開催の大阪万博でも注目されています。今、世界で推進しているとりくみなので関心を持ってほしいと思います。図書館にも関連する本が特集されているので、ぜひ読んでみてください。

人権教育推進担当 浅田

1年生 感動を届ける合唱ができましたか。

12月12日(木)の午後、「合唱コンクール」がありました。約1か月前から、早朝や昼休みなどの時間を使い、本番に向けて練習を重ねてきました。また、実行委員が中心となって、準備をしてくれました。時には、「一生懸命取り組んでくれへん…。」などの悩む様子もありました。しかし、学級の仲間全員が心をひとつにして歌ったら、得るものが多い…。そう、「仲間の絆」を信じて、少しずつ成長していったようでした。

本番では、最優秀賞と優秀賞を取った学級の仲間はもちろん、それ以外の学級の仲間も、本当に一生懸命に歌っていて、いい顔をしているなあと感心しました。「一人ひとりが自分のできることを精一杯やろうとする」という気持ちを、ぜひ、これからの学校生活に活かしてほしいものです。

保護者のみなさま、学年の半数以上の方にも来校していただき、ありがとうございました。今後ともよろしく願います。



2年生 ボランティア体験活動

12月17日(火)のボランティア体験で、かやの幼稚園・なか幼稚園・おひさまルーム・Merry Timeに分かれて小さい子どもたちと交流しました。子どもたちのかわいらしさに中学生も癒され、みんな笑顔いっぱいのあったかい時間が過ごせました。以下、生徒の感想です。

★幼稚園の子たちはとても小さくて、私もこんなに小さい時があったのかと不思議な気持ちになりました。遊びに誘ってくれたり、手をつないでくれたりしてとてもかわいかったです。

★すごく可愛かったです!!最初はお互いに緊張していてあまり会話が弾まなかったけれど、だんだん普通に話せて、最後は「ありがとう」を言い合ってハイタッチしました。「楽しかった人」と聞かれてはにかみながら手を挙げていた様子が見え、すごく可愛らしくて、ストレスが消えたような感じがしました。



3年生 ボランティア体験活動

12月17日(火)、ボランティア体験を行いました。あいにくのお天気で、外での活動を予定していたプログラムは校舎内の清掃活動に変更となりましたが、各場所で一人ひとりが真面目に取り組むことができました。普段の掃除や学期末の大掃除でもしないようなところの清掃をしましたが、生徒の感想では「窓の枠や壁など、すごくよごれていて大変だったけれど、キレイになると嬉しくなりました」「普段からしっかり掃除をしようと思いました」「ゴミをたくさん集めるのが楽しかったです」というものが多かったです。らいとぴあ21ではクイズ作りや溝掃除、メニュー書きなどを行い、花器作りでは絵馬の形をした花器を作りました。上手に出来上がり、持って帰りたい!という声があがるほどでした。一人ひとりが真面目に取り組んだ活動が、ただの一時間で終わるのではなく、誰かのために過ごした一時間だと感じてもらえる嬉しさです。



生徒の活躍

◆第10回「伝えよう!いのちのつながり」表彰式が行われ、海邊千咲さんが「市長賞」、永野秀直さんが「佳作賞」をいただきました。海邊さんは、自分の将来を考えるきっかけをつくってくれたおばあさんに対して、永野さんは、ともに空手をがんばってきたお兄さんに対して、ありがとうと感謝の気持ちを伝える内容でした。受賞、おめでとうございます。

◆教育委員会・学校へのご意見・お問い合わせは、学校ホームページの「ご意見・お問い合わせフォーム」でも受け付けております。

